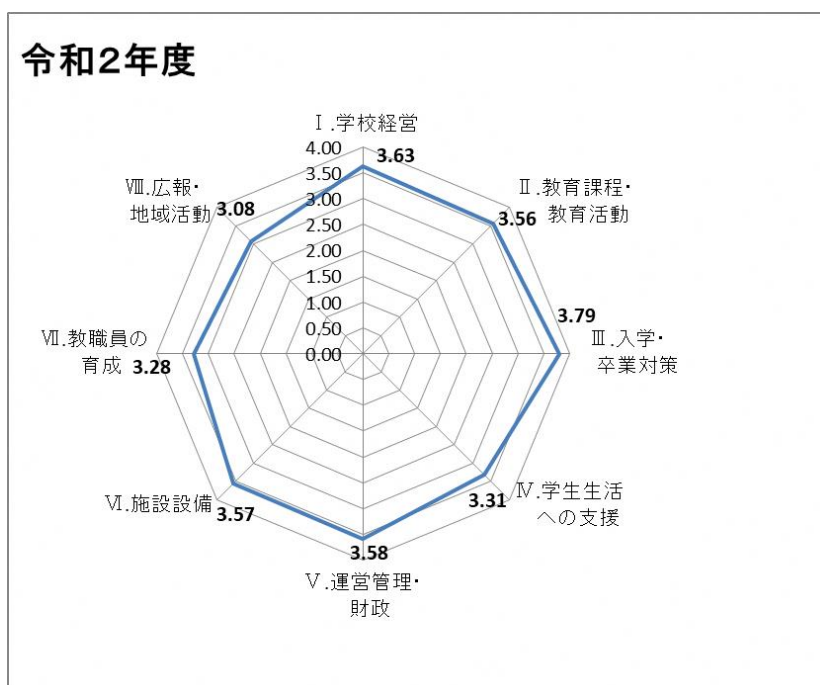


令和2年度 学校運営評価

本校は教育理念に謳っているように、生命の尊厳といつくしみの心を基盤とした人間性を育み社会に貢献できる看護師の育成をめざしています。教育・管理運営の質の維持と向上を図るために、本校は、点検及び評価を毎年行い、評価結果の一部を本校のホームページにて公表しています。

令和2年度 学校運営評価結果								
評価項目	I.学校経営	II.教育課程・教育活動	III.入学・卒業対策	IV.学生生活への支援	V.運営管理・財政	VI.施設設備	VII.教職員の育成	VIII.広報・地域活動
令和2年度	3.63	3.56	3.79	3.31	3.58	3.57	3.28	3.08

※ 評価基準は、3点を標準としています。



カテゴリー	主な項目 (要約)	平均値
I 学校経営	教育方針である教育理念や教育目的及び学年目標を教室や廊下に掲示し、意識するようにしている。また、自己評価の学校運営評価に加え、本年度より学校関係者評価を加え、外部の意見を取り入れて、次年度に活かしていく。	3.63
II 教育課程・教育活動	新カリキュラムが令和4年度より施行される。昨年度は、事務長を加えたカリキュラム検討委員会で方向性である教育理念や設置の意義を確認した。本年度は、教員全体で時代の要請を踏まえ、教育目的・目標・教育内容を見直し、教育課程の編成を行っている。	3.56

カテゴリー	主な項目（要約）	平均値
	る。次年度はカリキュラム実施のためのより具体的な準備をしていく予定である。本年度は、コロナ禍となり休校や臨地実習の制限が生じた。学校再開後は、継続して感染防止を行いながら、授業をできるだけ効果的に行っているよう講師と相談しながら授業方法を工夫し、必要単位の講義を行うことができた。また、実習も臨地に近い学習ができるようシミュレーション学習を行った。	
III 入学・卒業対策	教職員が皆で取り組んでいる国家試験対策では、卒業生全員が国家試験に合格という高い合格率を維持している。本年度は、助産科への進学1名と就業も100%達成した。昨年度から、卒業生に、困った時の相談窓口として学校を広報しはじめたが、コロナ禍であるため来校を控えてもらう1年となった。	3.79
IV 学生生活への支援	少人数制であるため、年次担当教員が窓口となり学習や精神面で個別相談をしている。教員達の丁寧な関りにより、本年度は、退学・休学者が一人もでなかった。また、専任のカウンセラーも相談者の状況に応じて面談の機会を設けている。 学習面では、国家試験対策係と学習係が連携をとり、年次に適した学習課題を設けて課題提示と指導を行っている。	3.31
V 管理運営・財政	学校管理での財政は、予算に応じて健全に運営している。。 年2回学生に満足度調査を行い、学生意見を学校運営へ反映するよう検討している。	3.58
VI 施設・設備	演習室、図書室、体育館などの教育設備や教材を活用し授業や学校生活をしている。コロナ禍で、3密を避ける為、広い教室への移動やグループワークを避けた授業形態を取りつつ、換気、消毒に努め、授業は対面であったが感染者は一人も出なかった。	3.57
VII 教職員の育成	教員の資質向上に向けた講演会は、近隣の講師を招き学内教員対象で行った。教員の学習については、Web開催での学会が増えた為、看護教育学会や教員の専門領域に関する全国で行われている学会から選択し、最新の看護教育の情報取得に努めた。加えて、半年間アーカイブ配信している新カリキュラムに関する研修会に申し込み、随時教員全員が視聴できるようにした。	3.28
VIII 広報・地域活動	学校の認知度をあげる目的で、駅の構内や地下道に学生募集のポスターを掲示したり、ホームページにドローンで校舎付近を撮影した動画を掲載したりした。地域活動は、コロナ禍であったため放課後児童クラブへの体育館貸し出しや、地元の中学校の総合学習への協力などは制限された。	3.08